

～やっばいいいなあ大関～

とほほの大関

2022年2月号
Vol.27

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター

PHOTO
CONTEST



#笑顔大好き大関 2021

写真コンテスト



最優秀賞 「夏休み・大関小学校にかかる幸せの虹」 大関小学校 様



優秀賞 「明日へ向かって」伊藤 絵梨 様



優秀賞 「ツバメの子供達」伊藤 キヨミ 様

もくじ

- 表紙 写真コンテスト入賞作品…………… (1)
- ゴミ探検(クリーンアップ作戦)…………… (2)
- 大関えがお朝市
- 間もなく完成! カフェコーナー…………… (3)
- 大関コミュニティセンター講座…………… (4)
- 第二次2021大関助け合いのまちづくりプランを策定…………… (5)
- 放課後子ども教室
- 防災訓練…………… (6)
- イルミネーション設置作業/応援横断幕
- 写真コンテスト&写真展開催…………… (7)
- 令和4年第1回大関地区区長会
- 青少年育成坂井市民会議会長表彰
- 福井県公民館広報紙コンクールで優良賞
- ガンバ大関!!/編集後記…………… (8)

◆間もなく完成！カフェコーナー 大関助け合いのまちづくり事業

地域住民で立ち上げたあたらしいカフェコーナーつくり事業の建設作業が10月から始まりました。まずは塗装です。柱材に親子やボランティアで1本1本丁寧にペンキを塗りました。よく乾燥させた後、ドリルで穴をあけインパクトでネジを打ち込み組んでいきます。慣れるにつれ笑い声や冗談が飛び交うようになり、場はなごんだ空気に包まれていました。(みんなで一つのものを作るっていいもんだな)と改めて感じました。手作りならではの体験です。その他、外カフェ用にシェードを取り付け、ベンチ、照明器具なども選びました。



そうした中、11月29日(月)に放映されたNHK福井放送局の「ほやほや見つけ隊」は、大関の魅力とあたらしいカフェコーナーのわくわく感をうまく伝えてくれました。太田キャスターの弾むような語り口に乘せられた感もありますが、これ以上ないPRができたのではないかと思います。「テレビ見たぞ、よかったわー」「どんなカフェができるんや?」「誰でも入れるんか?」などなど地区の方の関心がぐぐーとアップしたことは間違いありません。

NHKに感謝
感謝です。

3月13日(日)やよいまつりでのオープンに向けて、あゆみはゆっくりですが着実に完成へと向かっています。



カフェの名称が決まりました!

1階
いっぷく

2階
hâto

外
にじいろ

◆ゴミ探検(クリーンアップ作戦) 大関助け合いのまちづくり事業

大関地区のボランティア団体の大関クリーン隊は、11月3日(水・祝)大関助け合いのまちづくり事業として第2回「ゴミ探検」を行いました。探検に先立って10月21日(木)に「温暖化とゴミ問題」の出前授業を大関小学校5、6年生を対象に行い、ゴミ探検に取り組むための意識を高めました。

探検当日は、小中学生19名と各種団体代表の皆さん31名、合わせて50名で大関地区の主要道路を「探検」しました。



“探検”ではゴミの種類別にどれだけの数のゴミが落ちていたかを調査しました。

“探検”後のディスカッションでは、「探検で気づいたこと」「自分にできること」「みんなに伝えたいこと」を話し合いました。

参加した子供たちからは「ゴミを出さない商品を買う」「防犯カメラを設置する」など、ゴミを捨てないために何ができるかを真剣に話し合いました。

ディスカッションを通じて、ゴミを捨てるだけの取り組みではまちをきれいにできないことを学び、ゴミを捨てない意識に変えていく取り組みの必要性を強く感じました。

ディスカッションを通じて、ゴミを捨てるだけの取り組みではまちをきれいにできないことを学び、ゴミを捨てない意識に変えていく取り組みの必要性を強く感じました。



◆大関えがお朝市

大関助け合いのまちづくり事業



大関地区初めての朝市「大関えがお朝市」を11月21日(日)に大関コミュニティセンターで開催しました。この朝市は、地域住民の交流を深めるとともに、地域の賑わいを創出することを目的に開催したものです。

朝市には出店を希望された7名の方が、自宅で採れた新鮮な野菜「大根」「レタス」「つまみ菜」などを持ち寄り、お安く提供していただきました。朝市に来られた方からは「安くて新鮮でうれしい」「生産者と話ができて良かった」「すごく楽しかった」などの声をいただきました。

来年度以降も、今回の取り組みの反省を踏まえながら充実した「大関えがお朝市」を開催していきたいと思ひます。



◆第二次2021大関助け合いのまちづくりプランを策定

このたび、「第二次2021大関助け合いのまちづくりプラン」が完成しました。大関地区の小・中学生をはじめ大関地区の各種団体の代表者らとともに話し合いながら出された計画を、誰もが取り組みやすいようにまとめることができました。令和4年度からは、このプランを参考に、住民の皆様とともにまちづくりの事業を実践していきたいと思ひます。



放課後子ども教室



ビーチボールで遊ぼう

大関地区体育協会と大関児童館との共催で11月18日(木)、大関コミュニティセンター交流ホールを会場にビーチボールバレーを開催しました。大関地区体育協会会長の糸魚川薫さんから、アンダーハンドパスやオーバーハンドパスなどの基本練習を教わった後、チームに分かれてゲームを行いました。パスをする時にはお互いに声をかけるなど、わきあいあいと楽しく遊ぶことができました。

門松づくり

大関児童館と共催で門松を玄関に飾ってお正月を迎えようと12月28日(火)、大関コミュニティセンターで門松づくりを行いました。講師の小林純一さんから、昔から伝わるお正月の迎え方などを学んだ後、3本の細い竹や松を試行錯誤しながら立て、南天や杉などを自由にバランスよく飾り付けました。参加した児童は「こんなにいいものが出来た。これでお正月を迎えられる」と喜んで話していました。



大関コミュニティセンター講座

越前カンタケ栽培講習会



11月9日(火)に福井県特産ブランド品の認定を受けた福井県独自のきのこ(ヒラタケ)の越前カンタケ栽培講習会を行いました。カンタケは、栽培や管理が簡単で、人気の講習会で今年も多く申し込みがありました。コロナ禍で人と会う機会も少なくなっていたので、「久しぶりに人と話ができ楽しかった」「収穫が楽しみ」と皆さん嬉しそうに講習会を受けていました。

読み聞かせ&朗読会

9月28日(火)コミセン講座「読み聞かせ講座&朗読会」を開催しました。講師にFBCラジオ「お母さんのお話コーナー」等の番組を毎週担当している橋谷桂子さんをお迎えしました。受講者一人ひとりが「くじらぐも」の朗読をし、丁寧に指導していただきました。「登場人物になりきって読むと子どもたちが想像しやすいですよ」等のアドバイスをいただき、受講者からは「今まで読み聞かせをしていて、不安に思っていたことが解決できて良かった」と満足気でした。最後に、講師による「きつねの窓」のまるで絵本に吸い込まれるような朗読に参加者の皆が聞き入っていました。



部分月食を見る会

11月19日(金)大関小学校グラウンドで部分月食の観測会を行いました。好天に恵まれ、満月が赤銅色の月になると、参加者からは感嘆の声が上がり不思議な宇宙のリズムに酔いしれていました。



星を見る会in竹田

共催講座

11月13日(土)丸岡町竹田のちくちくぼんぼんで、竹田コミュニティセンターとの共催で「望遠鏡づくり&星空観測」を行いました。当日は、竹田の子どもたちが「じょんころ太鼓」で歓迎してくれ、大関の子どもたちと一緒に手作り望遠鏡づくりに挑戦しました。星空観測会では、大型望遠鏡で土星、木星、月を観測し、初めて見る土星の輪に驚いていました。また、手作り望遠鏡でも月のクレーターが見えた時はみんなから歓声が上がりました。



写真コンテスト&写真展開催

大関まちづくり協議会
大関コミュニティセンター

いまだ収束がつかないコロナ感染、外出を控えたり県外のご家族や友人、好きな人との面会をあきらめるなど、たくさんの我慢をされている大関住民の皆様にご写真で笑顔になってもらおうと大関コミュニティセンターと大関まちづくり協議会の共催で写真コンテストを実施しました。

Instagram利用での投稿、デジタルカメラでの撮影、現像プリントの3通りの応募方法を経て116点の作品が集まりました。

大関地区住民をはじめ坂井市内外から多数の方が素敵な作品を寄せてくださいました。たくさんのご応募ありがとうございました。

応募作品は1か月余りの期間に大関コミュニティセンター内で展示され、来館者による投票が行われました。審査を経て入賞者が決まりました(別掲)。3月には表彰式も行われる予定です。

来館者からは「写真を見て感動しました」「また開催してほしい」などの声をたくさんいただきました。笑顔あふれる大関のために今後も活動してまいりますのでご協力よろしくお願いします。



入賞おめでとうございます!

	大人部門	子ども部門
最優秀賞	大関小学校	長谷川 翔耶
優秀賞	伊藤 キヨミ	中濱 颯真
	伊藤 絵梨	橋向 蓮
大関コミュニティセンター長賞	北 恵一	高橋 百合香
大関まちづくり協議会長賞	今井 有佳里	伊藤 花恋
入賞	内海 亜由美	高橋 咲希
	大川 賢一	末山 玲奈
	大関児童館	谷岡 陽斗
	伊藤 ゆき代	谷口 蒼旺
	中濱 佳苗	高橋 颯太
		秋田 紗希
		齊藤 夏月

(敬称略)



青少年育成坂井市民会議会長表彰 青少年育成坂井市民会議大関支部



このたび、東区の伊藤新一さんと上関区の高橋文利さんが表彰を受けられました。

伊藤さんは、長年にわたり少年野球チームで青少年育成に力を注がれ、高橋さんは見守り隊や防犯隊としての活動を称えられ表彰されました。おめでとうございます。

福井県公民館広報紙コンクールで優良賞 大関まちづくり協議会 大関コミュニティセンター

大関まちづくり協議会と大関コミュニティセンターが発行している広報紙「どすこい大関」が、福井県公民館主催のコンクールにおいて優良賞に選ばれました。これからも皆様にご愛される広報紙づくりに取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

防災訓練

防災環境部会・大関地区区長会

10月17日(日)に防災環境部会と区長会の合同で防災訓練を実施しました。今回は、最初に災害(地震想定)発生時の個人、家庭や地区での初期対応について学び、その後避難所運営ゲーム「HUG」を体験しました。このHUGでは、まずグループに分れて、避難所を開設(今回は学校を避難所と想定)し、一枚ずつカードを引いていきます。カードにはあらゆる条件が書かれています。例えば、受付場所をどこに設置するか?から始まり、避難者については、〇〇地区の何人家族の避難場所は体育館のどのエリアにしますか?〇〇の病気のある方は?妊婦や怪我をしている方は?ペットを連れてくる家族は?盲導犬を連れてくる方は?水が出ない場合のトイレの設置場所は?など250通りの条件に対応していきます。今回の参加者のほとんどが初めてだったと思います。実際にやってみると「こんなパターンもあるのかあ」「えー」など声に出して悩んでいました。机上のゲームなので明るくできましたが、実際の災害時に避難所を開設した場合を想像すると怖くなりました。ものすごく良い訓練となりました。



イルミネーション設置作業

防災環境部会



11月23日(火・祝)に大関コミュニティセンター周りの樹木にイルミネーションの設置作業を行いました。当日は、朝からみぞれ混じりの雨が降るあいにくの天気でしたが、たくさんの方の協力で無事設置することができました。12月から点灯を開始し、地域の方から「とてもきれいですね。見ただけで心が休まります」や「周囲の田園風景にぴったりですね」などの声をいただきました。道行く人からも好評で、コロナ禍で癒しの空間を創ることができ、うれしく思いました。

令和4年第1回大関地区区長会

大関地区区長会

第1回区長会では、今年の区長会長に上関区の高橋勝彦さん、副会長に南蔵垣内区の水野公夫さん、新東中野区の宮田洋一さんが選出され、今年1年間まちづくり協議会とともに大関の活性化に取り組んでいくこととなりました。

令和4年 大関地区区長会役員(敬称略)

会長 高橋 勝彦(上関区)
副会長 水野 公夫(南蔵垣内区)
副会長 宮田 洋一(新東中野区)

応援横断幕

大関地区区長会

大関地区区長会と大関まちづくり協議会では、地域で活躍し、さらに成長する「大関の星」を地区住民の方々に広く知ってもらい応援いただけるよう大関コミュニティセンターに横断幕を掲示しています。

祝 第73回全日本大学バスケットボール選手権大会
インカレ出場!

森田 真衣 さん 大味春日区

令和3年12月6日~12日 大関地区区長会・大関まちづくり協議会

祝 第100回全国高校サッカー選手権大会 出場!

戸川 期雄 君 星稜高校3年 新東中野区

令和3年12月28日~令和4年1月10日 大関地区区長会・大関まちづくり協議会

ガンバ大関!!

大関まちづくり協議会では、大関在住者や出身者の方々が
地区内外で頑張っている姿を紹介します！



一級建築士
伊藤 絵梨さん
(東区)

今回のガンバ大関は一級建築士の伊藤絵梨さん(東区)です。伊藤さんは、コミセンが住民と一緒に進める「あたらしいカフェコーナー」建設の設計やインテリアコーディネートを手掛けてくださいました。

Q. 「あたらしいカフェコーナーつくろう会」に参加するきっかけは？

ある時、女性の働き方についての講演会があり参加したのですが、そこでたまたま「あたらしいカフェコーナーつくろう会」のメンバーに声をかけてもらったのがきっかけでした。

Q. 今回は住民の方々からアイデアを募集し、デザイン設計していくという企画でしたが、苦勞した点や感想を聞かせてください。又、出来栄はどうですか？

大学時代にまちづくりの勉強をしていたので、何のこだわりもなく参加しやすかったです。その時に学んだことは、住民の話を聞くことでした。住民コンペの企画は、いろいろな人が協力して出来上がるものなので、ひとりよがりではいけません。この取り組みでは、苦勞した点や大変だったという思いはなく、終始楽しかったです。ボランティアで参加してくださった専門職の方々も楽しかったと言ってくれたのが嬉しかったです。



Q. 最初のイメージ図通り仕上がってますか？

はい、応募していただいた方の提案を取り入れながらイメージ通りに仕上げることができましたと思います。

Q. デザイン設計の専門家の立場と地域住民としての立場から、このカフェコーナーに期待することは？

是非、高校生や中学生に利用して欲しいです。特に2階のカフェはインスタ映えするようになって欲しいです。利用する年齢層は幅広くなると思いますが、いい意味でたまり場になって欲しいです。

Q. 建築設計の道に進んだのはどうしてですか？ そのきっかけと歩みをお聞かせ下さい。

父の影響が強いですかね。父が建築家だったので、その背中を見て育ったせいか、中2で自分の道はこれしかない決めていました。母は、違う道を勧めましたが、今思えば、寄り道するの良かったのかなと思っています

私には、25歳までには資格を取り、35歳で独立するという目標がありました。現場では辛かった事もありましたし、結婚・出産・子育てをしながらの勉強はしんどかったです。目標があったので、ぶれずに出来たのだと思います。子育ては大変ですが、楽しいです。



Q. これからも大関コミセン、まち協とのかがわりが続くと思いますが、今、絵梨さんが未来に向かって思うことは？

大関コミセンを利用するようになって思うことは、ここはとても使いやすいということです。友人もとても使いやすいと言っていました。私は趣味で、小学生の頃から祖母に教わってあみものをしているのですが、60歳になったら設計士をやめてコミセンであみもの教室を開きたいです。

それから、もっと建築の職業を子どもたちが選択してくれるといいなと思います。建築というと男性中心のイメージですが、女性の設計士が増え、女性目線での設計もこれからは必要ではないかと思っています。

お忙しい中ありがとうございました。これからも住み良い大関のために御活躍されることを祈っております。

編集後記

大関地区の皆様、いつもありがとうございます。大関ではいろいろな事業を行っています。一つの事業でも大丈夫ですので、運営スタッフとして参加してみま

せんか。インスタやメール等で問い合わせできます。大関地区にお引越されしてきた方でも大歓迎です。

5年後、10年後に、大関に住んでいて良かったと思ってもらえるまちづくりと一緒に楽しみましょう。(T)



LINE 公式アカウント

050wwwps

検索



Instagram

大関コミュニティセンター

検索



大関まち協
メールアドレス

ozeki-p@mx3.fctv.ne.jp